

# 土壌のサンプリング方法

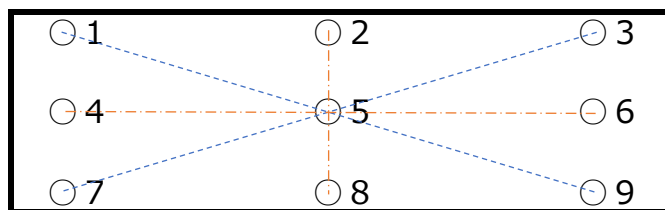
## 1. サンプリングに必要な道具

- ・移植ごて
- ・サンプル入れビニール袋（ジッパー式のように口を閉じられるタイプ）
- ・土壌分析申込書
- ・筆記用具

## 2. 圃場区分毎にサンプリングします。

サンプリングは、対角線を意識して少なくとも5箇所以上から均等に行い、良く混ぜて1つのサンプルにします。

例えば 1, 3, 5, 7, 9の5箇所  
1～9の9箇所

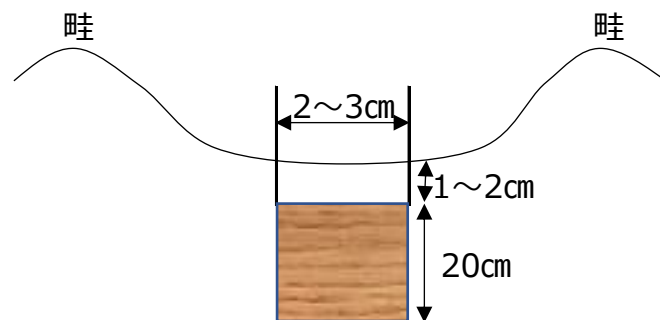


## 3. サンプリングは、肥料の影響が少ない畦間で行って下さい。

表面の有機物を除去し、深さ20cm迄の土を移植ごてで採取します。

尚、サンプリングの深さは、畑地と草地で違います。

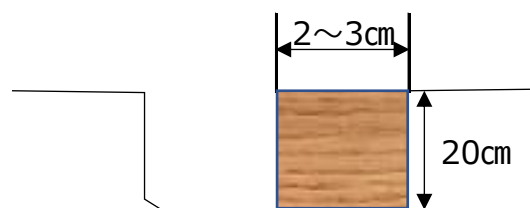
- ・普通畑地：20cm迄
- ・更新草地：20cm迄
- ・維持草地：5cm迄



圃場の作物の生育状況を見ながら採取しましょう。  
特に傾斜地では、上下別々に採ることが大切です。

## 4. サンプリングの要領は、先ず20cmの深さの穴を掘ります。

移植ごてで厚さ2～3cmで深さ20cm迄の土を採ります。



5. サンプルングの時期は、春耕施肥前か収穫後に行いましょう。  
肥料の影響が少ない畦間から採取する場合、生育期間でも差し支えありません。
6. 採取したサンプルは、日陰で風に当て乾かします。  
それを2 mmのふるいを通してゴミや小石を取り除きます。
7. サンプルの量は、圃場ひと区分につき最低でも500 g 必要です。  
それをサンプル入れビニール袋に入れて1 検体とします。
8. 土壌分析申込書に必要事項を記入し、サンプルと一緒に送り下さい。  
サンプル袋にサンプルの区分が分かるよう次の項目をマジックで直接記入して下さい。  
・依頼者氏名                      ・検体名称